

8月26日：銀行株が売られ、VN指数は反落

銀行株の下落が重しとなり、VN指数の上昇は今週1日のみに留まっている。

その一方で大きく資金流入を受けたHNX指数は2日間上昇した。

ホーチミン市場のVN指数は0.64%安の1,301.13ポイントで取引を終えた。

同指数は今週に入って約3%下落している。

この日の取引では銀行セクターに売りが集中した。

ホーチミン市場に上場する銀行株16銘柄のうち15銘柄が下落、マリタイムバンク（MSB）のみ変わらずだった。

ヴィエティンバンク（CTG）は3%安の31,200ドン（1.36米ドル）と最も下げた。

他にはベトナム投資開発銀行（BID）、テクコムバンク（TCB）、ベトコムバンク（VCB）、軍隊商業銀行（MBB）がそれぞれ売られ、下落幅は0.7~2.2%となった。

VN指数の値下がり寄与度上位10銘柄のうち5銘柄が銀行株だった。

他の大型株も売られた。VN30指数のうち上昇したのは6銘柄のみで、残りの24銘柄は下落した。ビンググループ（VIC）、ノバランド不動産投資グループ（NVL）、ホアファットグループ（HPG）、ペトロベトナムガス（GAS）はそれぞれ1%以上値を下げた。

その反面、港湾や倉庫銘柄は大きく上昇した。

多くの銘柄が午後に入って上げ幅を拡大させた。中でもジェマデプト港湾海運（GMD）、ハイアン運輸荷役（HAH）、ビナリンクロジスティクス（VNL）は、ストップ高水準でこの日の取引を終えた。

農薬銘柄にも買いが入った。大手ではペトロベトナム・カマウ肥料（DCM）が+4%、ペトロベトナム化学肥料（DPM）が+5.6%と上昇し、中堅の南部肥料（SFG）も+7%のストップ高を付けた。

出来高は僅かに増加した。売買高が5億2,400万株を超え、売買代金は17兆8,000億ドン（7億7,400万米ドル）となった。

「値上がり銘柄数と値下がり銘柄数は再び拮抗した。投資家が慎重な姿勢を見せた前日の取引と比べてこの日の出来高は減少した。また本日の下落は投資マインドが引き続き弱く、VN 指数が今後 1,300 ポイント付近で推移する可能性があることを示した」

(BIDV 証券)

ハノイ市場の HNX 指数は 0.25% 高の 336.85 ポイントだった。

同指数は前日 1.3% 上昇して引けていた。

売買高は前日比 6% 増の 1 億 2,900 万株を超え、売買代金は前日比 12% 増の約 3 兆 3,000 億ドンとなった。

外国人投資家はホーチミン市場で引き続き売り越した。

売り越し額は 6,040 億ドンとなった。しかしハノイ市場では 175 億ドンを買越し越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。